

株式会社パスパレディック

＜本社所在地＞

〒921-8035

石川県金沢市泉が丘 1 丁目 18-9

TEL : 076-241-1313

FAX : 076-245-5007

従業員数 7名



省エネ家電への買換え促進のために工夫されたこと

- ☆5 対象商品及び省エネ商品が分かる POP を商品に貼り付けた。
- 買換えキャンペーンチラシお客様に配布した。
- イベントの招待状配布及び、来場いただいた時に、比較提案書（見積提案書）にて電気代削減等のメリットを説明し、買換えの推進を図った。



省エネ家電に関する販売員等への教育

- 毎月の販売会議にて☆5 省エネ家電販売の意識付けを行った。
- 比較提案書の作成方法及び、Vida（お客様管理システム）から、見込客対象リストアップを行い、比較提案書を活用して販売推進を図った。
- 暖房強化型エアコンの推進を 10 年以上前から実施していたので、その知識を更に上積みするために、個別商品研修を行った。
- 環境省の省エネ製品買換ナビゲーション「しんきゅうさん」を利用するための研修会を行った。



省エネ家電の販売にあたって、ご苦労された点

- 高齢化社会の影響もあり、お客様の家であまり使用しない部屋が増えています。エアコン商談時に居間や寝室等によく使用する部屋の場合は省エネ型の商談はスムーズに運べますが、あまり使用しない部屋では省エネ型を推奨しても5つ星タイプでの成約が非常に難しいケースが多い（3つ星タイプクラスが中心）。また2018年夏は記録的猛暑もありランクアップ商談に時間を費やすことが中々できなかった（とにかく早く取付してほしい。機種にはこだわらず、予算にこだわる）
- 冷蔵庫では5つ星アイテムの増加で構成比は大変上がりました。一方で設置スペースと庫内の希望容量の兼合いで、5つ星タイプにならないケースもありました。また、近年2Fにキッチンを設置するお客様が増えてきており、納入運搬経路寸法の絡みで機種選択が限られることもありました。

「省エネ家電等マーケットモデル事業」（補助事業） に対するご意見・ご要望

- 当社としましては、従来から冷蔵庫、エアコンについては省エネ家電を推奨しております。冷蔵庫、エアコン以外の家電品も省エネ型が増えてきており買い替え時は当然省エネタイプから推奨いたします。製品によっては一般的な使用時間の違いはありますが、少しでも省エネ効果が期待できる製品も対象にしていただければ幸いです。
- また、別紙にて省エネ家電販売の取り組みについての思いを当社代表取締役の長田が作成いたしました。合わせてご査収いただきたく、宜しく願い申し上げます。

環境イノベーション情報機構

省エネ家電販売の取り組みについて

1 : エアコン販売

高付加価値商品への取り組みについての考察及びバブル期から平成の長期デフレ環境への対応
コンプレッサー一体型から、セパレート型エアコンになった頃のエアコンが、まだ使用されている方もいることに、感慨を覚えるのは、私だけでしょうか？この方々は、冷房専用で、満足しています。

冷暖房機種が発売されていち早く、買った方と買い替えをされた方は、我々の大切なお客様の一群になりました。新開発の高付加価値化された商品が大好きな方々と、必要なものは買う方々です。

バブル期とその後の暫くは、高くとも見栄えと付加価値の高い物が採用されました。

例えば、こちら北陸は真宗大国ですので、新築の際仏間を大切にします。仏間は、対外二間になっています。例えば、6畳二間で普段は一部屋、法事になると12畳になるという具合です。年間、月参りをする家で18回位、一番少ない家は報恩講のみ1回、それでも当時は座布団の入ったふすまの上に、埋め込みの住宅設備用のエアコンを設置したものです。後は客間と居間に見栄えの良い機種を選びました。

これらが買い替え時期に入ったのが、平成12年から以降少しずつ増えてきました。

仏間は、当然、使用頻度は激減し、それでもないわけにはいかないので、出来る限り安く買い替えをという要望が多くなりました。埋め込みを外し、板を張り、穴を開けて、壁掛けなどといった例もあります。

このころに省エネキャンペーンがあり、我々もお客様も、商品に対する評価と視点が変わってまいりました。必要な所に必要な物をとということです。居間と寝室は高付加価値商品を、普段あまり使用しない部屋と、いつ居なくなるか解らない子供部屋には、それなりの物を、というようになってきました。省エネという観点から言えば、当然のことではないでしょうか。最近では、ダイニングキッチンで、油煙での汚れが落ちる日立の凍結洗浄がより注目されています。このような観点から、お客様と共に話し合いながら機種の選定を行い、お客様に、無駄遣いをさせる事無く、喜んで頂くのが我々の役目ではないでしょうか、それにより、より一層の信頼関係が構築出来るものと考えます。

尚、最近の高付加価値商品は納品した後の、説明とフォローをおろそかにすると、信頼関係は崩れますので気を引き締めてないがしろにしないことを、注意事項として付け加えておきます。それは、自動お掃除機能の普及でフィルターの掃除をしなくてもよいと思っている方が多いのです。その為のトラブルが非常に多いのです。

もう一つは、エアコンは運転を止めずに温度調整でコントロールするのが、一番省エネになる事を実際に実感して頂くまでフォローして欲しいのです。

こうして、お客様のエアコン設置の予算の適正化を図り、維持費の軽減化する事で、剰余金を、高付加価値冷蔵庫のランクアップに繋げていく事が次の段階へのステップアップになります。

2： 冷蔵庫販売

冷蔵庫は、これまで1ドア：2ドア（フリーザー）：3ドア（野菜室がプラス）ときて今は5ドア、6ドアなど、バリエーションが増えて来ています。通常家族一人当たり100Lと言われていますが、私は今の現状には、当てはまらないと思っています。

ここ15年前ぐらいから冷蔵庫の省エネが進み、年間1万円以上の電気料金の節約が見込まれるようになって来ました。そのせいか買い替えの促進にも繋がり、我々もお客様も喜んでいるのが実態ではないでしょうか。

只、ここに来て、数年前からバリエーションが、色々出たり消えたりと、メーカーの思考錯誤が、頻繁に行われていて、我々もお客様も共に戸惑っていると思います。

例えば、野菜室、3ドアの時は真ん中にあり、4ドア、5ドアの時にも真ん中にあったのが、製氷機への水パイプの長さを短くすることで、きれいな氷が作れるとの事で、一番下が野菜室になりました。

しかし、今まで通り真ん中のほうが使い易いと言う、消費者の要望で、真ん中に持ってくる、メーカーも出て来ました。又、電動ドアタイプが、高級型に搭載されていましたが、今はその中のほんの一部になりつつあります。

過去にも、色々ユニークな冷蔵庫があり、それなりに需要もあったのですが、それを踏襲する事なく、お客様が置き去りにになっているケースが多々あることも事実であります。

冷蔵庫というものは、他の電化製品と違い、毎日使用し、コンセントを抜く事の無い、極めて存在価値の高い製品です。頻繁に、モデルチェンジをするより究極の選択視を目指して、その上でのバリエーションが有り、基本を踏襲しながら製品の中身と精度を磨いてほしいと思うものです。

例えば、野菜室に関しては一番下のケースは後ろにコンプレッサーがあるため、形と容量が決められてしまいます。したがって同じ容量と同じ形のものにして、野菜室が下から2番目が良いというお客様が自由に選択できるようにして、その切り替え装置は、下から2番目のケースの、後ろのスペースを利用して、設計すればよいのではと思っています。電動ドアは目的が、ドアの閉め忘れに特化し、ドアの開けることを無視し、閉め忘れをAIに任せて確実に閉めるか、ドアの閉まりを何かを挟み込んで、隙間が1mmでもあれば知らせることを目的にして頂くことが省エネにつながると思うのです。

AIは冷蔵庫の中身でレシピを提示したり、足りないものを教えてくれるより、ストックされた食品を大切に守ることが使命ではないでしょうか？その上でのプラスアルファのレパトリーだということを、はき違えてはいけないと思います。

いずれにしろ、冷蔵庫は、我々の生活を抜本的に変えてくれた家電製品の中でも、特筆すべき製品であり、なくてはならないものです。高齢者といえども大型で省エネそして使いやすい、美しい物を選びます。

冷蔵庫は5000クラスが一番省エネとなっていることを教えてあげると、大概驚きます。生活に密着し、長い年月毎日ふれあうものです。お客様が納得するまで、相談して上げることが私たちの使命です。

3 : LED 照明とリフォーム工事について

LED 照明は政府が2020年までには何とかして思っていたようですが、まず無理だと思います。いまだに電球や蛍光灯を求めるお客様がいます。これは国家政策だと言ってもなかなか難しいものです。

私はLED球を進める為に、電気料金の節約にどれだけ有効かを数値化して説明するようにしています。それで使用箇所によっては、数か月でLED電球一個分が節約できるという事例を説明すると、大方の人達に納得して買っていただけます。まだ考えている方には、原発を使わなくてもやっていける、省エネ対策として協力してはいかがでしょうか。の一言を添えてみます。昨今LEDへの理解は、相当進んでいると思います。器具の種類や取り付けに関してもレベルが上がってきて、早くに工事を見積もったところでは見直さざるを得ないこともあります。特に工事用器具の種類が増えて来て大変助かっています。

これから本格的に工場、マンション、商業ビル等のリニューアル工事が本格化すると思います。遅々として進まないのは、工事総額が、器具は安くはなってきたものの数が多いのでその足を踏む会社もあります。せめて国交省や総務省、それに関係省庁が一緒になって30%補助事業として器具の補填をしていただければ、もっと改善が進むものと考えます。

家庭用は、一気に交換は進まないものの、事あるごとにお勧めする事で、その家庭事情に合わせて、機種を選定を行う必要があると考えます。

いずれにしろ交換を早めることが電力事情の改善につながります。そのことを踏まえて行動に移すことが大切です。

私が、それでも懸念することは、あくまでも電球の灯りを愛でる人達もいる事を見捨てることはできないこと。

それと、LEDは電子回路です。そこから出る電波に、何も心配することは無いのか、それを検証した結果報告書成るものを、見たことがありませんので知りたいものです。

4k8k放送電波では、WIFIやレンジの電波が取りざたされているのに、なぜでしょう。

リフォーム工事について、省エネとの兼ね合いでは、当初、深夜電力利用の電気温水器、蓄熱暖房機、それがエコキュートに特化したのが現在です。太陽光発電も開発当初は補助金事業として、大盤振る舞いをしたものの、補助申請が、受理されたのに、工事をしない会社も出て、見直しをせざるを得なくなっています。

それが、東日本大震災を契機に、原発再稼働の見直しや、原発そのものへの見直しに、発展しつつあります。そして、電力事業そのものをも改変され、電力自由化、送配電分離等の変化を余儀なくされて参りました。

今後は、蓄電池やエネファーム、電気自動車等の組み合わせで、電気を買わずに済ます、ゼロミッション住宅を、視野に入れて来ました。究極の省エネ住宅と言わねば成りません。

今リフォームで取り上げているのは、水の省エネです。トイレ改修で、水の消費量の削減を計っています。

それと、プラマードに代表される、これらの商品群による、窓断熱でのエアコンの省エネ対策を計るリフォームです。組み合わせの多様化でお客様のニーズに答えて行くのが使命だと思います。

(株) パスパレディック 代表取締役社長 長田 泰雄